

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） 「令和6年度 次世代科学技術チャレンジプログラム」に 関西の私立大学として初めて採択されました

京都光華女子大学（学長：高見 茂）は国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）が実施する、令和6年度「次世代科学技術チャレンジプログラム」に採択されました。本プログラムの採択校のなかで、私立大学では昨年度採択校の慶應義塾大学に続き2校目となり、女子大学では初めての採択校となりました。

■ 次世代科学技術チャレンジプログラムとは

次世代科学技術チャレンジプログラムとは科学技術イノベーションを牽引する次世代の傑出した人材を育成するため、初等中等教育段階（小学校高学年～中学生）において理数系に優れた意欲・能力を持つ児童生徒を対象に、その能力等の更なる伸長を図る多様な育成プログラムの開発・実施を支援する事業です。

国立研究開発法人化学技術振興機構（JST）理数学習推進部が、令和5年度より全国の国公私立大学、高等専門学校、公的研究機関、科学館、博物館等を対象に公募を開始しました。

募集2年目の本年度は全国から19件の応募があり、本学を含め9大学・1高等専門学校が採択されました。

■ 本学の提案理由

「多様な幸せを追求し、課題に立ち向かう人材」を育成する教育プログラムを通して、さらなる能力の伸長を目指すことを目的とした本プログラムは、本学が掲げる「For Future “Well-Being”」に合致するものであることから、本学の校訓を活かした【思いやりの心による『開かれた未来社会』を作り出す次世代科学者育成プログラム】を提案するに至りました。

■ 「STEAM教育」と「哲学的対話」の融合を図る

本学の提案は、本学の強みである医療、AI、食、バイオサイエンス分野を中心に、分野横断的に課題解決・価値創造に向けたプロセスを学習する「STEAM教育」と建学の精神に基づく「仏教精神」を組み合わせ、科学研究と心の教育の融合を図り、幸福をもたらすことができる人材育成を目指すものです。大学および同一敷地内にある併設の光華小学校、京都光華中学校を実施場所に、京都大学との連携体制を構築し、科学技術と心の教育の融合を図ります。

実施期間は今年度から最大5年間を予定しており、本学では、校訓「真実心」のもと、本事業を通じ、Well-Beingな未来社会の実現に貢献できる次世代人材の育成に向け邁進してまいります。

報道各社におかれましては、ぜひ、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学／短期大学部 入学・広報センター 担当：藤尾

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] <https://www.koka.ac.jp/>



健やかな明日が華ひらく

Well-Beingを実現する健康・未来創造キャンパスへ

京都光華では、これまで80余年にわたって仏教精神に基づく女子教育に取り組んできました。その根幹にあるのは校訓「真実心」。世界が目指す「持続可能な社会」に通じる重要な考え方です。

私たちは、この理念によって立ち、すべての人が健やかに暮らせる“Well-Being”な未来の実現を目指し、学生一人ひとりに、そして地域に寄り添い、社会の要請に応えてまいります。